シリーズ 探訪 わが町文化財 その46

杉野原天子山城跡・三宝荒神社

天子山城跡は、杉野原区野班にある南北朝時代に築かれたと伝えられる山城跡です。この城跡は、南北朝の争乱に伴い後村上天皇が吉野へ逃れる際に一時身を寄せたという伝承があり、そこから「天子山」と名付けられたと言われています。

杉野原区が位置する有田川町東部は、中世には阿弓河荘の東端部にあたり、荘園の支配をめぐって高野山との争いが繰り広げられた地域でした。天子山城の北側には高野街道が通り、また周辺にはいくつかの城跡の存在が知られていることからも、天子山城は高野山勢の侵入を防ぐ目的で築かれた可能性が考えられます。城跡は、現在三宝荒神社の境内になっており、その多くは改変されていますが、社がある部分は曲輪の一部とみられる他、周囲には空堀跡などが残されています。

三宝荒神社は、かつては南側の山麓にあったとされますが、昭和四年（一九二九）地区住民の発起によって奈良県野迫川村の立里荒神社から勧請し、現在の山頂におまつりされるようになりました。三宝荒神とは、屋内の囲炉裏やかまどなどにおまつりされる火の神であり、一般家庭でも広く信仰されてきたものです。

去る4月9日（土）には、杉野原区民による会式と餅投げが行われました。今年は杉野原区野中班の皆さまによって、一石六斗（約２４０kg）の餅が準備されましたが、かつては四石から五石もあり、規模としては県下有数であったと言われています。当日は、地区内外から多くの参拝者が訪れ、にぎわいました。

広報 ありだがわ 2016.5 vol.125

●〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町下津野 2018-4
●有田川町役場総務課 TEL 0737－52－2111(代)
●E-mail aridagawa@town.aridagawa.lg.jp
●ホームページ URL http://www.town.aridagawa.jg.jp

VEGETABLE OIL INK